

■ 平成28年度 第4回 協働に向けた意見交換会「協働のまつり場」記録

【第4回のテーマ：かりや健康マイレージ事業の取組みを進め広げるために私たちが連携協働できること】

日 時	平成 29 年 3 月 17 日（金） 10:00～12:00
場 所	刈谷市国際交流プラザ 201 会議室
参加者	市民団体…5 人、市役所職員…10 人、事務局…4 人 進行…（特非） N I E D・国際理解教育センター伊沢令子、記録…同 川合眞二
配付資料	・次第＋協働のまつり場の目的・位置づけ・スケジュール等 ・第 3 回協働のまつり場記録 ・第 2 回協働のまつり場記録(成果物)
成果物	4－1 各委員の団体の「強み」（ハード、ソフト、ヒューマンウェア） 4－2 各委員の団体の「強み」を活かした連携協働の可能性 4－3 本事業の取組みを進め広げるために「できること／したいこと」 4－4 今年度のまつり場の感想
当日流れ	1. はじめに ・開会、配付資料の確認、市民協働課長補佐あいさつ、第4回のねらいとプログラムの説明。 2. 第3回ふりかえり、これまでの成果の確認 ・第3回協働のまつり場の記録を各自読み、印象に残った部分3カ所に下線を引き、選んだ理由をグループ内で共有した。その際に「これから楽しみにしていること」も紹介しあった。 3. 第3回番外編「交流会」に関する情報の共有 ・各委員が作成した活動紹介「ポスター」の内容について説明後、自由に見て共有した。 4. 各委員の団体の「強み」を活かした連携協働の可能性の検討 →成果4－1、成果4－2参照 ・各委員が、次の3つの視点で自分の団体の強み(持っているもの)を考え、A3用紙に書き出した。 ①「ハード」…施設・道具・機材など ②「ソフト」…プログラム・技術など ③「ヒューマンウェア」…人材・人的ネットワークなど ・第2回の成果2－2と第3回の成果3－1、成果3－2の内容も確認し、各委員の団体の強みを伝え合ったうえで、「各団体の強みを本事業にどう活かし連携協働できるか」について、グループで話し合い、合意できたことを模造紙にまとめた。 ・ギャラリー方式で、他のグループのアイデアを見て回り、良いアイデアに☆印を付けた。 5. 休憩 10 分間 6. 本事業の取組みを進め広げるために「できること／したいこと」 →成果4－3参照 ・各委員が、全4回をふりかえり、自分がこの事業の推進に向けて、次のことを考え、A4用紙に書き出した。①健康課と共にできること／したいこと、②自分の現場でできること／したいこと、③他団体・他課とできること／したいこと。 7. 6の発表共有と全体ふりかえり →成果4－4参照 ・各委員が、「連携協働具体案」と今年度のまつり場の感想を、1人2分間で全体に向け発表した。 8. 事務連絡など …市民協働課長から閉会あいさつ、アンケート記入のお願い

第4回意見交換会の様子



各委員の団体の「強み」のまとめを共有している様子



「できること／したいこと」と感想を全体で発表している様子

成果4-1：各委員の団体の「強み」（ハード、ソフト、ヒューマンウェア）

●市民団体

所属	ハード	ソフト	ヒューマンウェア
刈谷市国際交流協会親善ボランティア	- 日本語指導教材 - 統括する事務所	- 茶の湯の技 - 着付けの技 - 外国の方に楽しんで頂く技 - 日本の遊びの技 - 日本語指導の技	- 茶の湯ができる人 - 着付けができる人 - 日本語指導できる人
刈谷市商店街連盟	- 輪転印刷機 - あきんどプラザ(事務所) - プレスの鉄板 - ガス鉄板焼器 - 保温器、おでん器 - 金属探知機	- 加盟店が360店 - いろいろな職種 - ボランティア - 学校の先生のOBが7人	- イベント出店 - 障害者団体の横のつながり
刈谷市民ボランティア活動センター	- 打合せスペース利用可(要登録) - 貸出し備品が多い	- ボランティア活動、市民活動団体の情報提供 - 人とのつながりができる	- 相談できる - NPO 法人との連携 - つながるねつの活用 - 車座集会など
刈谷市レクリエーション指導者クラブ	遊び具を保有(レク協も含め)	40周年を迎えた - レク財マニュアルを作成し保有 - 県内レク指で一番活性している	- インストラクター、コーディネーターの資格を持っている人が多い - 小学校や子供会に指導することができる
西三河フォークジャンボリー	- 事務局(事務所、会議室) - PA機器 - 会場、設営者 - ホームページ、ブログ	- コンサート開催 - ミニコンサート(プレイベント) - ミュージシャン集め - 広報・集客方法	- ミュージシャン、司会者 - 他のフォークジャンボリー - 観光協会、他の音楽団体 - TV局、ラジオ局、新聞 - ライブハウス、イベント会社 - 設営業者、会場、SNS - ライオンズクラブ

●刈谷市役所

所属	ハード	ソフト	ヒューマンウェア
福祉総務課	・各障害者施設 ・障害のある人に必要な自助具（車いすなど）	・障害のある人に必要な対応方法 ・障害のある人が社会参加する際に必要なサービスの提供	・障害者団体 ・障害サービス提供事業者
健康課 (3人分)	・保健センター ・げんきプラザ ・トレーニング機器 ・体力測定(元気度測定)に必要な機器 ・講座室(プロジェクター、マイク、スクリーン) ・多目的運動室、栄養指導室、会議室 ・健康づくり、健診など様々なリーフレット、ポスター	・健診助成 ・健康相談 ・健康教育(出前講座) ・運動指導 ・健康づくり実践のノウハウ ・市民健康講座など市民の方にどなたでも参加していただける講座を主催している	・専門職がいる(医師、看護師、薬剤師、臨床心理士、歯科医師、栄養士、保育士、歯科衛生士、保健師、助産師) ・保健推進員、運動指導員、食生活改善推進員 ・至学館大学、愛知教育大学 ・健康づくりリーダー ・包括支援センター
子育て支援課	・子育て支援センター(中央、北部、南部)…誰でも自由に利用できる遊び、相談の場 ・かりがね子育て支援センター(病児ケアルーム) ・放課後児童クラブ ・しげはら園 ・夢と学びの科学体験館	・子育て広場 ・子育て講座 ・早期療育 ・科学体験館プラネタリウム企画	・子育てボランティア団体 ・ファミサポ会員 ・育児ママ訪問サポーター ・NPO 子育て子育てスコープ ・子育てコンシェルジュ ・家庭児童相談員 ・科学体験館指導員
商工業振興課	・産業振興センター(あいおいホール、小ホール、会議室)	・融資 ・業種判定 ・中小企業補助	・刈谷市商店街連盟 ・各商店街 ・刈谷商工会議所 ・銀行
農政課	・生きがい楽農センター ・食まるファイブグッズ ・おこしものの型 ・パソコン、白黒プリンター ・掲示板(庁内) ・産直ガイドマップ	・農業体験教室 ・料理教室 ・食まるファイブ関係(イラストなど) ・産直ガイド、特産物の情報 ・市内生産者の情報 ・各種補助金	・係職員 ・農業者団体 ・JAの職員 ・県の職員 ・新聞社
環境推進課	・公害測定用の資機材 ・省エネ啓発用の機器 ・環境キャラの着ぐるみ(キー坊、ラビたん、エピコ)	・各種計画等	・環境支援員 ・獣医師会 ・愛知教育大学の先生 ・委託業者 ・商工会議所 ・トヨタ系企業環境部門
生涯学習課	・総合文化センター ・市民センター ・生涯学習センター ・市民館 ・休暇村	・市民講座 ・高齢者教室 ・大学連携講座	・公民館長 ・生涯学習リーダー ・文化工房かりや ・指定管理者 ・PTA
愛知県 衣浦東部保健所	・会議室 ・PC、プロジェクター ・駐車場、車 ・衛星電話 ・検査機器 ・大型モニター(42型)	・会議 ・研修 ・専門性(感染症、医療安全、危機管理)	・専門職がいる(医師、薬剤師等) ・各種つながり(企業、食品関係団体、医療機関、職能団体、理美容団体)

成果4-2 : 各委員の団体の「強み」を活かした連携協働の可能性

団体名	「強み」を活かした連携協働の可能性 ※()内数字はいいね！の数
刈谷市レクリエーション指導者クラブ	・市民参加の行事にチラシを配付し説明する。(3) ・市民参加の行事にポイント付加できる。
刈谷市民ボランティア活動センター	・きっかけづくりを仕掛ける。(2) ・関係団体に協力依頼(1) ・チラシの設置(1) ・講座の開催
環境推進課	・各種イベント等の啓発に着ぐるみ(キー坊等)を使える。(4) ・各種講座等の際に参加者に周知(2) ・窓口にチラシの設置 ・関係団体への周知
商工業振興課	・関係団体の周知、協力依頼(1) ・イベントPR(1) ・チラシの設置(産業振興センター)
西三河フォークジャンボリー	・イベント時にステージからPRする。(5) ・ラジオでPRする。(4) ・歌を作ってイベントで発表(1) ・イベント時にチラシ配布 ・SNS等でのPR
子育て支援課	・支援センターでのポスター掲示(1) ・児童クラブでチラシ配布(1) ・子育てアプリで子育て世帯への情報発信(1) ・ファミサポ会員向けの手紙・通信に掲載
健康課	・企業へPR(メール、シート配る)(3) ・イベントに出向きPR(1) ・病院(健診センター)でPR・配布
生涯学習課	・市民講座等でチラシ配布(2) ・公民館長にPR(1) ・施設予約(総合文化センター)
商店街連盟	・加盟店数が多い(3) ・加入している職種が多彩
衣浦東部保健所	・企業(2) ・関係団体(食品・理美容)(1) ・専門職 ・助成制度(医療費)
健康課	・講座室(1) ・会議室 ・多目的運動室 ・栄養指導室 ・専門職
福祉総務課	・生活用品給付
刈谷市国際交流協会親善ボランティア	・イベント参加者にPR(4) ・日本語教室に参加した人にPR(1) ・事務局にPR、シートを置いてもらう。
農政課	・産直でPRする。(7) ・JAに協力を依頼する。(2) ・教室の参加者にPRする。 ・農業者にPRする。
健康課	・施設を利用する人に対してPRできる。

成果4-3 :本事業の取組みを進め広げるために「できること／したいこと」

所属	健康課と共に	自分の現場で	本事業に関わりなく
刈谷市国際交流協会親善ボランティア	◇国際交流協会だよりの翻訳をする際に、事業のPRをする。	◇自団体の人に事業のPRをする。	◇親善ボランティアに登録いただきたい。
刈谷市商店街連盟	◇連盟加盟店にパンフレットを配る。	◇商工課さんと一緒に説明する。	◇レクリエーション指導者クラブの方に、イベント会場に来てほしい。
刈谷市民ボランティア活動センター	◇講師をお願いして「健康づくり」を周知してもらうための講座の開催 ◇チラシの設置	◇設置されたチラシ、マイレージの説明を積極的にする。 ◇職場のスタッフ内でPRし、実施する。	◇市民活動団体、ボランティア活動団体として活動している団体・個人の登録をお願いしたい。
刈谷市レクリエーション指導者クラブ	◇市民参加行事(さくら祭り、宝探し、わんさか祭)でチラシ配布と説明	◇クラブ内で展開 ◇老人会等でのゲーム指導時のチラシ配布	◇市役所保有のキャラクターの行事参加
西三河フォークジャンボリー	◇PRソング作成(健康課には作詞を)、健康課のイベントでPRソング発表、CD作成。	◇ラジオで事業のことをPR ◇イベントでPRソング発表 ◇SNSで事業のことをPR	◇レククラブの皆さんが主導するイベントと共同で、イベント開催(フォークジャンボリー+PRソング)
福祉総務課	◇イベントでの事業紹介(主催側) ◇イベントへの参加の周知(参加側) ◇各施設でのPR	◇チラシの設置 ◇団体への広報 ◇事業者や障害者	◇障害者雇用を考える企業とのマッチング ◇工賃向上のための企業やお店からの受注拡大(新規開拓)
健康課(3人分)	◇1つでも2つでも皆さんが声をかけてくださる機会があれば、職員が出向いて事業のPRができるとよい。 ◇PRできそうなところへのお願いと実際のPR	◇「まいか」が使えるサービスを増やしたり、懸賞賞品を増やしていきたい。	◇フォークジャンボリー…歌を作ってもらい、啓発ソングとして広めていきたい。
子育て支援課	◇子育て支援センターを始め所管施設でのポスター掲示及びチラシ配布 ◇子育てアプリを活用した情報発信	◇「子育ての悩み・不安の解消」「子どもの健全育成」が子育て支援課の目標であり、その手段として健康づくりを施策に取り入れることができるのではないか？その可能性を検討しながら健康マイレージ事業との連携を考える。	◇NPOママの働き方応援隊…何か協働できれば。
商工業振興課	◇個店にPRするため、商連の会議で依頼を説明	◇セミナーでPR	◇イベント等での商店街の協力
農政課	◇JA、産直へのPR依頼	◇親子で参加のある教室でのPR ◇農業者へ向けてのPR(健康増進)	◇刈谷市の紹介をする時には、農産物(スイカ、白菜、大根、ブドウ、梨、柿、イチジク)のPRもお願いしたい。

環境推進課	◇健康マイレージとエコポイントを市民等にPRするために共同イベント等の開催	◇各種講座の参加者へPR	◇エコポイント事業の周知の協力をお願いしたい。
生涯学習課	◇公民館長との連携	◇市民講座等で健康マイレージのポイントとなることを周知	◇市民講師 地域に関する講座
衣浦東部保健所	◇マイレージ事業の普及啓発	◇会議や研修等で事業紹介の時間を持つ(関係のある団体への周知)	◇国際交流協会…外国人への健康情報の普及 ◇商店街組合…マイレージ協力店への依頼 ◇ボラセン…災害時の取組み ◇農政課・商工振興課・生涯学習課…健康チャレンジ事業の普及啓発 ◇レククラブ、ジャンボリー…難病患者家族のつどい協力

成果4-4：今年度のまつり場の感想

- ◇とても楽しい会だった。いろいろな人と行政の方とフランクに話せた。
- ◇まつり場という場が活用され、魅力ある刈谷市になるといいと思う。
- ◇普段は話す機会があまりない、若い人、行政の人と話せて楽しく、頭の体操になった。
- ◇4回参加して、市役所の皆さんとは普段は一方通行の関係だったが、今回は話し合う機会となり有意義で楽しい時間であった。
- ◇市役所だけでは思いつかない考え方を、グループワークを通して気づけた。初めての経験でためになった。
- ◇参加できて有意義だった。
- ◇いろいろな意見をもらい、元気ももらえた。昨年度会った人とも今でも交流があるので、今回も今後が楽しみである。
- ◇小さな事業を試行錯誤でやってきているが、こんなに沢山の人の意見を聞けて光栄だった。
- ◇交流会に参加できず残念だった。市役所と市民団体との交流の機会は少なく、多様な意見が聞けるのがためになった。話し合いの中では職場を意識する場面もあり、もっとざっくばらんに話せる機会にも参加できたらと思った。
- ◇関係団体や市民の方と話をし、思うほどに市の施策が浸透していないことに気づいた。今後の事業展開の参考にできる。
- ◇いろいろな団体の人と協力して市の施策について考えるのはすばらしいと感じた。一方、市の施策を認識してもらうのは難しいと思った。
- ◇以前参加した時より、グループワークが増えて、バージョンアップした感じがした。
- ◇行政だけの視点だけでなく、市民の考え方が聞けてよかった。
- ◇楽しくて、生の意見が聞けて、マイレージシート1枚にしても様々な視点で指摘を受けて勉強になった。